

## 2. ツバメのかんさつ パート2

藤枝市立広幡小学校

3年 塚本奏人

### 1 動機

昨年、祖父の家にツバメがやってきたので「ツバメの観察」をテーマに自由研究を行い、そのあと、本やインターネットでツバメのことを調べた。

今年はその調べたことが本当なのか、昨年との違いはあるのかということを調べたいと思った。

### 2 研究の目的

ツバメは今年もやってくるのか。

巣作りは夫婦が協力して行うのか。

1日1個、卵を産むのか。

最後の卵を産んでから14日目にかえるのか。

他、昨年の観察結果と比べながら観察をする。

### 3 観察に使用した物

デジタルカメラ、双眼鏡、メモ、鏡、パソコン（インターネット）

### 4 観察日記

5月15日

昨年、巣を作った場所（玄関）の近くにツバメが飛んできた。昨年は雨どいのわきに作ったが、今年は、そのすぐ近くの玄関の照明に作り始めた。（昨年は、ヘビに襲われ落とされてしまった。）



5月15日



5月18日

5月19日

5日間で巣はほぼ形になった。夫婦で協力して巣を作ること、泥や枯れ草を使って作る様子を観察できた。巣が完成した後、3日間ほとんど姿を見せなかった。

この日から、毎朝鏡を使い巣の中を確認した。

5月22日

1個目の卵を確認。26日まで1個ずつ増えるのを確認した。

昨年は全部で6個の卵が産まれたが、今年は5個だった。



5月23日



5月26日



6月6日

6月10日

ヒナが産まれた。本に書いてあった日数（14日目）よりも1日長かった。

産まれてすぐに親鳥のエサ運びが始まった。去年は、エサを運んだあと離れた場所で休んでいたが、今年はずっと近くの電線に止まって見守っているようだった。

今回は、夫婦が交互にエサを運んだり、見守ったりと、とても協力的しているように見えた。

6月12日（ヒナが産まれてから3日目）

まだ目が開かず毛も生えてこない。

6月15日（ヒナが産まれてから6日目）

毛が生えてフサフサしてきた。

6月16日（ヒナが産まれてから7日目）

ヒナが巣の外に顔を出すようになった。



6月10日



6月11日

6月18日（ヒナが産まれてから9日目）

目が見えてきたようで、親鳥が近くに来るたびに反応するようになった。

別のツバメが巣の近くに飛んできたが、親鳥がすごいスピードで追いかけて追い払う様子が見られた。

6月19日（ヒナが産まれてから10日目）

だいぶ毛が生え揃いかわいくなってきた。この日も別のツバメが巣の近くに来たので、親鳥はヒナのところでじっとしていた。

6月23日（ヒナが産まれてから14日目）

ヒナの成長に少し差が出てきた。写真を撮ろうとすると、親鳥が警戒して巣の周りをぐるぐると飛んでいた。



6月16日



6月19日



6月25日

6月26日（ヒナが産まれてから17日目）

ヒナ達は、巣のふちに登ったり降ったりと、飛ぶ練習の準備をしているようだった。

6月27日（ヒナが産まれてから18日目）

ヒナの鳴き声がだいぶ大きくなってきた。この日も巣のふちに登ったり降ったりしていた。

6月28日（ヒナが産まれてから19日目）

近くの電線に止まり、飛ぶ練習をしていた。

6月29日（ヒナが産まれてから20日目）

朝、近くにはいなかったが、夕方には巣の中に何羽か入っていた。

6月30日（ヒナが産まれてから21日目）

この日も昼間は姿が見えなかったが、夕方になると戻っていた。

7月18日（ヒナが産まれてから39日目）

近くの電線に止まっているのが確認できた。

8月3日（ヒナが産まれてから55日目）

まだ近くの電線に止まっていた。巣の中に入るツバメもいた。

8月4日（ヒナが産まれてから56日目）

この日以降、ツバメの姿が見えなくなった。「渡り」をしたようだ。



7月18日



8月3日

## 5 まとめ

今年は、昨年の観察と比べながらの観察だったが、新たな発見や違いを見つけることができた。

去年は、途中でへびに巣を襲われ、巣を落とされてしまったため、家の近くで飛ぶ練習をすることが見られなかったが、今年は近くの電線で安心して練習ができたように思う。

今年もボスヒナ（一番エサを食べるヒナ）が誕生したが、昨年ほど成長の差は見られなかった。

一番強く感じたことは、夫婦の協力がとても重要だということ。巣作り、エサやり、そして外敵からヒナや巣を守るのは、2羽の協力がとても大切だと思った。

今年の親鳥は協力的で、巣作り・子育てがとてもスムーズに見えた。

来年は、親鳥はエサを1日に何回運び（運ぶ時間も決まっているかも含めて）、どういう順番でヒナにエサをあげるのか、さらに、どんな音にどのような反応をするのかを調べながら、また新しい発見を得られるよう観察をしたい。